

- 問1 世界史の年表において、中国の唐が滅亡した時期（907年）からモンゴル帝国による統一（13世紀）までの期間に該当する、日本の文化的な特色を述べたものとして正しいものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
1. 足利義政の時代に、書院造や水墨画、茶の湯など、現代の日本文化の源流となる文化が形成された。
 2. 平家を倒した源頼朝の時代に、東大寺南大門の金剛力士像に代表される力強く写実的な文化が生まれた。
 3. 遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や日本人の生活感情に合わせた国風文化が発達した。
 4. 遣隋使や遣唐使の派遣により、大陸の進んだ制度や仏教文化が直接導入された飛鳥・奈良時代の文化が続いた。
- 問2 平安時代に藤原氏が、朝廷の主な役職を一族で独占し、最も栄えた時期の状況を説明した文として、適切なものを選びなさい。（2020年 徳島県公立入試 類似）
1. 藤原氏が遣唐使の廃止を機に、唐の制度を完全に廃止して日本独自の律令を新たに制定し、貴族中心の法治国家を築いた。
 2. 藤原頼通が白河上皇の力を背景にして、摂政や関白を置かず院庁から政治の命令を出す体制を整えた。
 3. 藤原氏が地方の武士団を直接組織し、兵力を用いて平氏や源氏を朝廷から追い出すことで政治の実権を握った。
 4. 藤原道長が自分の娘を次々と天皇の后に送り込み、天皇の親族（外戚）としての立場を固めて絶大な権力を振るった。
- 問3 平清盛が行った政治や対外政策に関する説明として、当時の経済的背景や具体的な取り組みを正しく述べたものはどれか、次の中から選んでください。（2019年 三重県公立入試 類似）
1. 遣唐使を廃止することで、日本独自の国風文化を発展させることを優先した。
 2. 御家人の領地を保証する代わりに軍役を課す封建制度を確立し、大陸との貿易は博多のみに限定した。
 3. 元軍の侵攻に備えるため、北九州の沿岸に防塁を築き、大陸との貿易を一時的に中断した。
 4. 瀬戸内海の航路を整備するとともに、摂津国の港である大輪田泊を改修し、大型船の入港を可能にして貿易を拡大させた。
- 問4 平安時代中期に「国風文化」が発達した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
1. 遣唐使の派遣が停止され、大陸の文化を消化した上で日本の独自の感性が育まれた。
 2. 南蛮貿易を通じてヨーロッパの文化が伝わり、新しい技術や芸術が取り入れられた。
 3. 仏教が広く民衆にまで普及し、写実的で力強い彫刻や建築が数多く制作された。
 4. 武士が政治の実権を握り、実用的で質素な美しさを尊ぶ気風が生まれた。
- 問5 京都の宇治に現存する平安時代の代表的な文化財について、その外観や特徴を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. 鎌倉時代に重源が再建した建築物で、屋根を支えるための複雑な組み物が特徴であり、門内には力強い表情をした金剛力士像が安置されている。
 2. 最澄が比叡山に建立した寺院の中心的建築物であり、当時の学問と修行の拠点として、後の鎌倉新仏教の開祖たちを多く輩出した。
 3. 藤原頼通が建立した阿弥陀堂で、中央の堂の左右に翼を広げたような回廊を配した左右対称の構造を持ち、正面には極楽浄土を模した池が広がっている。
 4. 藤原清衡が建立した建物で、堂の内部から外部に至るまで金箔で覆われており、東北地方における浄土信仰の広まりを象徴している。
- 問6 10世紀から11世紀にかけての日本では、唐の文化を吸収しつつ、日本の風土や生活、感情に合わせた「国風文化」が発達しました。この時期に宮廷に仕えた女性たちが著した文学作品の説明として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2018年 岡山県公立入試 類似）
1. 本居宣長が、日本古来の精神を明らかにするために古代の神話を研究してまとめた『古事記伝』
 2. 紫式部が、貴族の和歌を分類・整理して編纂した、日本最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』
 3. 千利休が、茶室という限られた空間の中で精神的な交流を重んじる「わび茶」を大成させた記録
 4. 清少納言が、宮廷生活での経験や自然の美しさを鋭い観察眼で書き留めた、随筆の『枕草子』
- 問7 九世紀末に菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されたあと、それまでに取り入れてきた中国の文化を日本の風土や生活に合わせて消化・吸収し、発展させた日本独自の文化を何といいますか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
1. 桃山文化
 2. 天平文化
 3. 飛鳥文化
 4. 国風文化
- 問8 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が発展しました。この時期、かな文字を用いて宮廷の貴族社会の様子や人間模様を生き生きと描いた長編小説『源氏物語』の作者として正しい人物を選びなさい。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. 紫式部
 2. 和泉式部
 3. 紀貫之
 4. 清少納言
- 問9 平安時代末期に権力を握った平清盛が行った、対外貿易に関する政策として正しいものはどれですか。（2018年 愛知県公立入試 類似）
1. 現在の神戸市にあたる大輪田泊を修築し、兵庫津を整備して宋との貿易を推進した。
 2. 鎌倉に幕府を置いていた北条氏が、対外貿易を統制するために博多に拠点を築いた。
 3. 足利義満が明との間で勘合貿易を行い、兵庫の港を幕府の直轄地として整備した。
 4. 遣唐使の廃止に伴い、海外との交流を制限するために大輪田泊の機能を縮小させた。
- 問10 奥州藤原氏が拠点とした平泉に建立され、建物全体が金箔で覆われ、内部の祭壇や仏像が豪華に装飾されている、当時の東北地方の経済力と高い文化水準を象徴する建物の名称を選びなさい。（2024年 静岡県公立入試 類似）
1. 鹿苑寺金閣
 2. 厳島神社
 3. 平等院鳳凰堂
 4. 中尊寺金色堂
- 問11 平清盛は、武士として初めて政治の実権を握る際、藤原氏が用いた「摂関政治」の仕組みを模倣しました。平清盛が自身の権力基盤を固めるために行った具体的な行動として、最も適切なものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
1. 遣唐使の派遣を継続し、唐の進んだ政治制度を取り入れることで中央集権化を進めた。
 2. 武力によって京都の朝廷を完全に解体し、鎌倉に独自の政治拠点（幕府）を開いた。
 3. 娘の徳子を高倉天皇の后とし、その間に生まれた安徳天皇を即位させて外戚となった。
 4. 自らが上皇となり、摂政や関白を介さずに直接政治を行う「院政」を開始した。
- 問12 平安時代末期、平氏政権を確立した平清盛が、現在の神戸市にあたる場所に「大輪田泊」を整備して積極的に推し進めた中国（宋）との貿易について、その主な目的と影響を説明したものとして適切なものはどれですか。（2023年 北海道公立入試 類似）
1. 長崎の出島を窓口として、銀や銅を輸出する代わりにキリスト教の布教を伴わないヨーロッパの文化を導入した。
 2. 遣隋使の派遣を継続することで、大陸の高度な律令制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇中心の国づくりを強固にした。
 3. 貿易によって得られる莫大な利益を平氏一門の経済的基盤とし、また輸入された宋銭が国内で流通するきっかけとなった。
 4. 倭寇による被害を防ぐために、明の皇帝から交付された勘合という札を用いて、正式な貿易船であることを証明させた。